



# まちのできごと

## 6/1 世代交流会 大きく育てね

お年寄り子どもたちが花植えを通じて交流を深める世代交流会が、風の子児童センターで開かれました。交流会には長寿クラブの会員6人と子ども6人が参加。子どもたちはお年寄りから「土はやさしくかけてね」と教わりながら、ラベンダーなどの花を植えていました。終了後、子どもたちを代表して田原亮佑さんと水橋龍翔くんが「花植えを手伝ってくれてありがとうございます」とあいさつしていました。



↑交流を深めながら花植えを行う参加者

↓個別の相談に応じる講師の木村さん（写真左）



## 6/19 子育て講話 子は親を見て育つ

育児の不安軽減を図ろうと子育て支援センターにて子育て講話が開かれ、18人の親子が参加しました。遠紋地区を中心に活動する助産師の木村鈴子さんは「子は親を見て育ちます。自分の生活習慣を見直すことがしつけの第一歩」と説明し、「育児に疲れた顔をしがちですが、笑顔で子どもに接しましょう」とアドバイス。参加者からは「スマイルを届けられるママを目指したい」という声が聞かれました。

↓郵便物の収集について職員から説明を受ける児童たち



## 6/12 へき地小学校社会科見学 生活を支える仕事を学ぶ

社会科見学の 일환として、へき地小学校4校（沢木・共栄・豊丘・幌内）の低学年児童12人が郵便局などの施設見学や、路線バスの乗車体験を行いました。郵便局では職員から説明を受けた後、ポストから郵便物を収集する作業を見学。児童たちは、興味津々な様子でポストの中身をのぞき込み、職員にいくつも質問をしていました。子どもたちは生活を支える仕事に触れ、社会の仕組みなどについて学んでいました。

↓自治会役員から笑顔でホタテ貝を受け取る町民



## 6/15 雄武漁協ホタテ貝無料配布 50周年の感謝

雄武と沢木の漁業協同組合合併50周年を記念して、町内約1800世帯へのホタテ貝無料配布が行われました。この日、雄武漁協では水揚げされたばかりの新鮮なホタテを用意。町内31か所で各自治会員が協力し、各世帯に4キログラムずつ配布しました。ホタテを受け取った町民は「組合のみなさんの気持ちうれしい」「息子が帰省したときに一緒に食べます」などと笑顔で話していました。

## 5/30 生きがい大学第1回学習会 自分の命は自分で守る

生きがい大学第1回学習会として、町民センターで交通安全講話が行われ、長寿クラブの会員など約100人が参加しました。興部警察署の谷口哲也交通係長は「交通事故は一瞬で人生を変えてしまいます。自分の命は自分で守ってほしい」と訴えました。その後、同署川淵仁靖巡査部長による演奏会が行われ、最後に交通安全への願いを込めて「ふるさと」を参加者全員で合唱していました。



↑トランペットで演奏を披露する川淵巡査部長

## 6/9 雄武小学校運動会 練習の成果を発揮！

雄武小学校で運動会が行われ、約160人の子どもたちがグラウンドを元気に駆け回りました。この日は晴天に恵まれ、徒競走や綱引きなど全14種目を実施。障害物競争「おやこでさんど1(いち)！」では、さまざまな形の具材を親子で上手に挟んでサンドイッチが完成。仲良くゴールを目指していました。子どもたちは父母などに見守られるなか、精いっぱい練習の成果を発揮していました。



↑上手にサンドイッチを作ってゴールを目指す親子

↓苗木を丁寧に植える参加者



## 6/4 お魚を殖やす植樹運動 森と川と海はひとつ！

森と海を豊かに育てようと「お魚を殖やす植樹運動」(雄武漁協主催)が幌内ふ化場付近において行われました。当日は漁協女性部をはじめ漁業・林業関係者や小学生など約160人が参加。参加者はスコップやくわで土を掘り起こし、シラカバやミズナラの苗木2000本を丁寧に植え付けていました。雄武漁協の片川隆市組合長は「魚が群れを成して遡上(そじょう)する姿を期待し、今後も植樹を続けていきたい」と話していました。